求人票の早期提出と高校生の採用枠拡大を！

～県、秋田労働局が経済団体に新規学卒者の採用枠拡大を要請～

6月16日㈬、佐竹敬久秋田県知事をはじめ、神田義宝秋田労働局長などの行政機関関係者や就職希望の高校生代表等が秋田県商工会館を訪れ、本会など経済5団体の代表者等へ求人票の早期提出と採用枠拡大の要請を行いました。

佐竹知事は、「県内の景気はまだ厳しい状況だが、県では、切れ目のない経済政策や地元企業の産業振興に取り組んでいる。引き続き地元雇用の拡大にご努力を頂きたい。若年者の県内定着は地元の消費力の向上に繋がるなど、活力ある地域社会の形成のためにも重要な課題である。優秀な人材が県外に流出してしまうのを防ぐためにも、採用枠の拡大と求人票の早期提出をお願いしたい。」と述べ、経済団体の積極的な対応を要請しました。

佐竹敬久知事（左）と
神田義宝秋田労働局長

これに対し本会髙橋専務理事は、「雇用するためには県内企業が元気にならなければならない。引き続き中小企業振興施策を進めて頂くとともに、地産地消の推進など、秋田を守る政策を行って頂きたい。私たち中小企業も雇用面では一生懸命頑張りたい。」と述べました。

佐竹敬久知事、神田義宝秋田労働局長より本会が受け取った要請書は本誌別紙のとおりです。

なお、来春の高校卒業予定者向けの求人票の受付は、6月20日から始まっています。

本会　髙橋専務理事